

独自の発想で多くの壁を突破し、新しい局面を切り拓いている方のお話から、私たちの業務を深化させるヒントを探ります

Ideas
for Next

Vol.19

本当の豊かさは心の中にある。 ザンビアでの医療活動で見つけた 幸せに生きる道

懸命に生きる人たちが、病気や貧困で苦しむことのない世界に――

日本のへき地などで地域医療に従事したのち、WHOやJICAでのアジア・アフリカ支援を経て、2011年より、ザンビア共和国で巡回診療を始めた山元香代子医師。

1年のうち半年間を日本の病院で働き、その収入により現地の医療活動が行われています。

途上国での医療活動に挑戦し続ける、山元さんの思いを伺いました。



医師

山元 香代子 氏



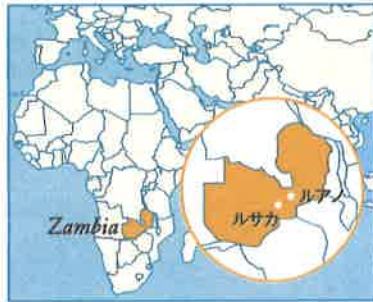
3カ月ごとに日本で働きながら、
ザンビアでの医療活動に向かう

私は今、アフリカ南部のザンビア共和国で巡回診療に従事しています。人口約1500万人、およそ70の部族からなるザンビアは最貧国の一つ。地域の格差が大きく、首都ルサカは近代化が進んでいますが、地方は平原が広がり、道路も整備されていません。巡回先に行くときは、木の枝を斧で切り、川を車で渡りながら、石ころだらけの道を約5時間かけて、ようやく訪問先の一つ、ルアノ地区にたどり着きます。

ルアノはとても貧しい村です。電気・ガス・水道はなく、村人は草葺きと土壁の家に住んでいます。農業や畜産で得られる現金収入が乏しい上、地域に診療所がなく、病気やケガをしても、医療を受けることができません。

村に着くと、たくさんの方が待ち受けています。多いときで200人近く。学校を借りての診察が始まります。最も多い疾患はマラリア。衛生環境が悪いため、下痢や皮膚疾患、結膜炎などの感染症も絶えません。さらに妊婦、エイズ患者、家族計画受診者などさまざまな患者さんをザンビア人スタッフと協力して診察していきます。

首都ルサカの北、チボンボ郡ルアノ地区へ月2回、ムワンタヤとニヤンカンガ地区へは月1回巡回している。写真は悪路をルアノへ向かう四輪駆動車。帰りはスタッフ5人にヘルスセンターへ搬送する重症患者が加わることもある



巡回診療を始めたのは2011年。当時は毎月4、5人の村民がマラリアで死亡していましたが、2013年14年はゼロになりました。巡回診療の活動には、医療品や器材の購入、車の整備や軽油代など、年間700万円ほど掛かります。私は鹿児島県にある昭南病院で3カ月ごとに非常勤として働き、その収入をザンビアでの活動に投じてきました。

進むべき道を教えられた 椎葉村での経験

医師になりたいと思ったのは、小学生のときでした。私の兄は体が弱く、よくお医者さんが往診にきました。聴診器を当てて、指でトントンと打診する。その後、兄がみるみる元気になっていく姿を見て、本当にありがたいと感じました。そして、中学生のとき、アフリカでの医療活動に身を投じたドイツ人医師シュバイツァーの伝記を読みました。1ドル360円の時代で、海外での医療活動など想像もできませんでした。「お医者さんになって人の役に立つ仕事がしたい」と考えるようになりました。志を立てて自治医科大学に進みましたが、研修医になってからも、自分が医者としてどう働いて

いくのかは、漠然としていました。自治医科大学の卒業生は研修後、へき地医療に従事することになっています。私は九州山地の奥深くにある宮崎県の椎葉村で働くことになりました。日本三大秘境の一つに数えられる椎葉村は耕作地が少なく、当時、村民の暮らしは日雇いの仕事をしなければ成り立たないほど貧しいものでした。お薬を出すと「先生、安い薬でいいんじゃないから」「レントゲンを撮ろうとすると」「お金がないから撮らんでええ」と言います。何とか力になりたいと思

者さんの話に耳を傾けていると、午前中の外来が午後まで掛かってしまうことも。それでも辛抱強く「先生は話を聞いてくれるから、遅くなっても待つよ」と励ましてくれました。雪の降る冬のある日、「おばあさんの様子がおかしい」と連絡を受けました。雪道を上って駆けつけると、布団の中ですでに冷たくなっていました。体を確かめると、背中に大やけどを負っています。都会から帰郷する孫のために風呂を沸かそうとして、薪の火が着物に燃え移ったのです。おばあさんは、家の者に迷惑を掛けまいと痛みを我慢したまま、亡くなりました。

世の中には家族のために必死に働き、歯を食いしばって生きている人が

大勢いる。だから、日本は豊かになったのだと思いました。こうして懸命に生きている人たちが少しでも幸せになるように医師として役に立ちたい——椎葉村での経験が、医師としての原点となりました。

ザンビアで知った 幸せに生きる道

へき地などでの地域医療と研究生活を国内で15年間続けたのち、私はWHOの医務官になりました。日本では公衆衛生や栄養の向上で感染症はずいぶん減りましたが、途上国ではマラリアや Dengue 熱などで多くの人が命を落としています。それを予防するため、カンボジア、ラオス、ベトナムなどアジア各国の保健省に小児保健の政策提案を行ってきました。やりがいがありました。が、現地の実情が正確に伝わってこないジレンマもあり、もっと現地に近いところで仕事をしたいと思うようになりました。そこで、NGOやJICA専門家として、アフリカの国々の保健衛生の改善に関わる仕事に就きました。しかし、現地で知ったのは、援助を一部の人たちが独占し、本当に困っている人に行きわたっていない現状でした。職業意識の

昨年は、巡回診療に加えて、井戸掘りの資金や、草葺きだった診療施設を新築した際、屋根やドア、セメントなどの建材を提供した。写真はルアン地区の井戸掘りの様子と、ムワンタヤ地区の住民の手作りレンガでできた倉庫兼診療施設



低い医療者も少なからずおり、患者さんの容態が急変しても全員出払っていたり、患者さんが亡くなっても家族の悲しみに寄り添うこともない場面にも遭遇しました。スキルを教えるだけでは足りない。もっと患者さんを思いやれるあたたかみのある診療所のモデルをつくりたい——そんなとき、共にザンビアで医療活動しようと思いを掛け合っている人がいて、巡回診療を始めることを決意したのです。

現地の医師免許を取得し、資材や車を調達し、スタッフを集めました。最初はあらゆる面で苦労しました。ザンビアでは何事もスムーズにいきません。スタッフが出勤してこない、銀行や役所でも何日も通い詰めない、物事が進まないことは日常茶飯事。生活環境も、蛇口をひねれば水が出る日はありがたく、電気が点けば今晚はご飯がつけるとホッとします。

でも、大変なことが多い分、一つでも物事がうまくいけば、躍り出したくなるほどうれしいのです。巡回先に着くまで大変でも、バナナ一本出てくると、それだけで元気が湧いてくる。小さな親切や物事の前進に、心から感謝したくなる。やがて分かったのは、国や習慣が違っても、自分が誠実に働いていれば、手を差し伸べてくれる

人が現れるということですが。最初はスタッフの確保に頭を悩ませましたが、巡回診療を理解し、一緒に頑張ってくれる人が残ってくれました。現在、準医師と助産師、コーディネーター、運転手と5人で活動していますが、よく働いてくれる最高のスタッフです。

巡回先では、地域の人が無償でコミュニティヘルスワーカー（健康アドバイザー）としてサポートしてくれます。貧しいはずの彼らがなぜそんなに働いてくれるのか、日本から来た医学生が聞いたことがあります。すると「香代子と一緒に、いい仕事をしている。それが自分の誇りだ」と言ってくれたそうです。私はそんな彼らにいつも支えられています。

私たちの活動は湖面に石を投げるような、あてのないごく小さなことかもしれません。いつまで続けられるか分かりませんが、ザンビアの医療を変えられることはとてもできません。でも、一人でも命を救うことができ、その人がこの村で元気に生

山元 香代子 氏 (Kayoko Yamamoto)

1956年、宮崎県都城生まれ。医学博士。自治医科大学卒業後、宮崎でのへき地勤務などの9年間を含め、日本で15年間地域医療に従事。発展途上国での医療保健活動に関心を持ち、WHO西太平洋事務局医務官、JICA専門家などとして活動を行う。ザンビア滞在中にへき地医療活動の必要性を強く感じ、2010年12月ザンビア共和国医師免許取得。2011年10月から巡回診療を開始し、1年のうち半年をザンビアでの医療活動、半年を鹿児島県・昭南病院で内科医として働きながら現在に至る。2015年、第43回医療功労賞受賞

NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

(ORMZ)

山元医師が医療活動を安定的に継続できるよう2012年7月設立された。同会のホームページでは、寄付支援方法のほか、写真や動画を交えた現地活動報告などが掲載されている

<http://ormz.or.jp/>

<https://www.facebook.com/ormziryou/>

き続けてくれれば、それだけでも私はやった甲斐があると思うのです。

最近は活動に賛同してくれる方々の寄付で、巡回診療に加え、小学校の近くを含め7つの村に8基の井戸を掘ることもできました。ルアンには読み書き計算ができない人が多いのですが、学校に行けばきれいな水が飲めるからと、小学校に通う子がこれまでに増えました。学校へ通える子どもが増えるのは何よりうれしいことです。

本当の豊かさは心の中にある——私のアフリカでの活動を応援してくれた亡き父の言葉です。迷ったり、くじけそうになったとき、その言葉を思い出します。懸命に生きている人たちのために医師として働くこと。それが私にとっての幸せに生きる道でもあります。